

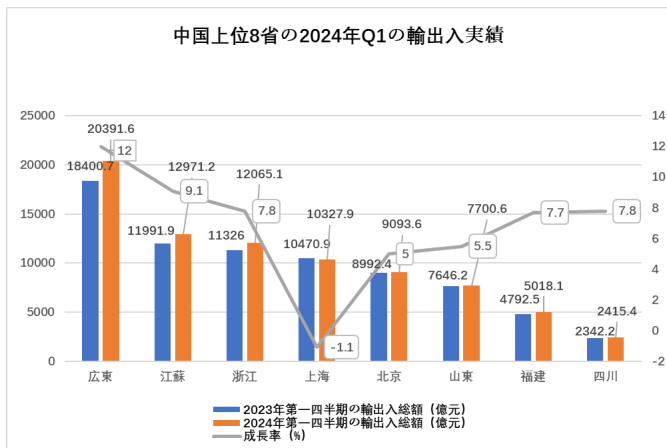
## 深圳レポート

### 中国の対外貿易、注文の細分化に直面

どの国でも対外貿易は、地域経済の状態と開放の勢いを反映する「バロメーター」である。近年中国を取り囲む複雑な国際環境により、対外貿易についても、予想を上回るほどの様々な影響を与えている。よって、2024年の第一四半期の対外貿易の輸出入の実績は更に注目されている。

先日、中国海関総署は、全国31省の対外貿易輸出入データを公表した。昨年の2023年Q1を振り返ってみると、全国で7つの省の対外貿易輸出入の成長率がマイナスであった。今年のQ1にはその数が10までに増加し、地域間の格差が一層明確になっている一方、注文細分化などの各種課題も浮上している。

の種類やSKUの数は増加している。福建省晋江市の陳埭鎮は、世界的に有名な靴の生産拠点であり、「ANTA」、「361°」など著名なブランドとの深い協力関係を築いている。対外貿易注文が細分化されるにつれ、総額が変わらなくても、注文要件はより詳細になっている。よって生産が複雑化し、管理コストや物流コストが上昇している。この傾向は、生産計画やコスト構造に影響を及ぼすだけでなく、製造業者に新しい市場環境に適応するためのビジネスモデルや生産戦略の調整を強いている。製造業者は、日々複雑化する生産要求と市場予測の不確実性に対応するため、より精密な在庫管理と生産スケジュールが求められている。



データ出典: 中国海関総署

#### 注文細分化の現状

現在、中国の対外貿易製造業は前例のない苦難に直面している中、特に注文の細分化が深刻である。細分化された注文は、大量の小ロット・多品種の注文が、従来の大ロットの単一製品の注文に取って代わっている。

グローバル市場環境の変化と消費者のニーズの多様化の中で、注文数は減少しているが、単一の注文で取り扱う製品

#### 注文の細分化の原因

注文の細分化は現在の対外貿易市場で顕著な傾向であり、市場が製品の種類やカスタマイズされた需要の増加に対応していることに加え、以下のような主要な要因があげられている。

①購買行動の変化: 経済状況の変化とコストのプレッシャーがバイヤーに購買戦略を変更させ、在庫を減らすために小ロット、多頻度の購買モデルを好むようになっている。この方法は特にアパレル業界では一般的である。

②電子商取引プラットフォームの影響: 電子商取引の台頭、特にTemuのような低価格プラットフォームの出現は、伝統的な小売に対する市場の細分化を加速させている。これらのプラットフォームは低価格戦略を通じて、元々は実店舗で購入していた低価格志向の消費層を引きつけ、他の小売業者の市場シェアと注文のサイズをさらに圧縮している。

※2022年9月にアメリカで立ち上げられ、ショッピングアプリダウンロード数1位を記録した越境ECサービス「Temu」。中国からの直送による、低価格での販売が特徴である。主要ECモールと比較して配送に時間はかかるものの、驚くほどの低価格を実現しています。2023年7月には日本にも上

陸している。

③越境電子商取引と情報技術の発展：より多くの小規模なバイヤーが、「敦煌網」などの越境電子商取引プラットフォームを通じて直接工場と取引することができるようになり、伝統的な大規模国際バイヤーや中間代理店を迂回することができる。これにより、注文がさらに細分化されている。

※2004年に設立されたDHgate(敦煌網)は中国で代表的な越境B2B-ECプラットフォームとして、アメリカ市場シェア1位を誇っている。

### 注文細分化に対する製造業の対応戦略

コスト上昇に対応するため、多くの工場はサプライチェーンを最適化し始めており、例えば工場内で靴底や糸などの原材料を自ら製造することで、外部供給業者への依存を減らしている。これは物流コストを削減するだけでなく、生産サイクルも短縮している。

また、工場は自動化設備やAI技術を導入しており、人工知能が対外貿易企業によるオンライン顧客の問い合わせの受け付けと処理をより効率的かつコストを効果的にする手助けをしている。たとえば、「馴鹿AI」(XUNLU AI)は工場が独自のウェブサイトを構築し、AIツールを利用して宣伝資料の制作コストを削減することに注力している。また、最も成功したセールスマンの思考方法やコミュニケーションスタイルを模倣するAIチャットツールを開発し、AIロボットが顧客と同様の方法で対話できるようにしている。

「鑫飛揚」というDTFデジタル捺染機企業は、AI技術を越境電子商取引のライブ配信に応用し、昼間は実際の従業員が製品のライブ配信を行い、夜間はAIが引き継ぎ、ライブ販売を続けるという新しい運営モデルを実現した。この方法は、企業が顧客との接触を24時間途切れることなく拡大し、同時に従業員の負担を軽減する効果がある。

市場の多様な需要に対応するために、工場は多様なプリセットオプションを顧客に提供し、特定のニーズに合わせたカスタムサービスも提供している。この柔軟なサービスモデルは、顧客満足度と市場競争力を向上させるのに役立っている。

### 新しいプラットフォームと市場の拡張

フルマネージドサービスが徐々に工場の新たな選択肢とみなされている。このモデルは工場の運営圧力を軽減し、注

文の流れの連続性を保持することができる。フルマネージドサービスは、電商プラットフォームが提供するサービスで、工場が生産に集中できるように、自らネットショップを運営する必要がない。例えば、TemuやSheinはこのモデルを通じて工場に注文を提供しており、利益が低い場合でも、生産ラインの継続的な稼働を保証し、工場が固定費用(工場、機械、従業員の給与など)をカバーし、損失を減らすのに役立っている。

さらに、一部の工場はTikTokやFacebookなどのSNSで自らのライブチャンネルを立ち上げ、製品だけでなく生産過程も紹介するライブ販売を行っている。この方法により、消費者と直接交流し、新しい販売チャンネルを開拓している。TikTokでは、この目的のために、問い合わせフォームや電話問い合わせ機能などの新機能が追加されており、消費者が直接TikTokを通じて工場と連絡を取り、より便利に問い合わせや注文を行えるようになっている。これにより、工場の市場接触と販売潜在力が向上している。

### 長期戦略とグローバル市場の拡大

伝統的な製造業や貿易業者は、越境電子商取引プラットフォームでの協力や独自ブランドの構築に加え、オフライン販売チャンネルとパートナーシップの拡大に注力している。特に泉州近郊の中小規模工場は、生産能力が高いにもかかわらず出荷量が不足しているため、特定の国のオンライン市場への進出を目指してパートナーと協力し会社を設立している。

一方、恒安国際集団「ハンアン・インターナショナル・グループ」は、フィリピンやロシアで生産拠点と販売ネットワークを展開し、衛生用品市場でのシェア拡大を図っている。また、アメリカでは製造と販売を統合したビジネスモデルを採用し、海外の倉庫を活用して、注文の保管と処理だけでなく、展示や小売の場としても機能し、地元市場に低価格で商品を提供し、より高い利益率を実現している。この販売モデルは通常、オンライン小売や卸売よりも高い利益率をもたらし、生産と直接販売の利点を効果的に組み合わせている。

対外貿易の注文細分化の傾向が深まる中、中国の対外貿易製造業は市場の変化に迅速に適應できるかという課題に直面している。中国の輸出入製造業者は、内部管理の最適化、技術革新、市場拡大などの戦略を通じて、より競争力を高め、グローバル市場での持続的な成長と発展を維持するために努力をするであろう。

## 新エネルギー物流車の競争レース

社名	地上鉄租車（深セン）有限公司	英語名	DST		
代表者	張海瑩	URL	<a href="https://www.dstcar.com/">https://www.dstcar.com/</a>		
所在地	深セン市南山区南海大道公園一号広場 7-10F				
売上 (RMB)	—	従業員 (人)	—	創業年	2015年
登録資本金	8489.6216万人民元				
サービス内容	自動車リース、自動車および自動車用品の研究開発・販売など。				

2023年に開催された全国生態環境保護大会で、中国政府は、中国が産業構造とエネルギー構造の調整を持続的に推進し、再生可能エネルギーの発展に力を入れることを強調した。

国が新エネルギーに重視を高めるにつれて、自動車の電動化プロセスが徐々に深まっている。新エネルギー自動車は乗用車分野での応用が広がる一方、商用車分野でも各業界に徐々に浸透し、物流車の電動化は業界の注目を集めている。現在、中国の新エネルギー物流車産業は加速発展の段階に入っている。経済性、快適性などの複数の利点の総合的な影響により、新エネルギー物流車はすでにローカル物流業界で好まれ、注目されている。

地上鉄租車（深セン）有限公司（以下「DST」と略称）は2015年に創立され、新エネルギー自動車の運営サービスを行う企業で、各大手宅配物流及び都市配送の環境に優しい、効率的な運搬能力のサービスを提供している。また、新エネルギー自動車の充電一体化運営ソリューションとサービスも提供している。

DSTは国策による「レンタカー」の需要に応じてトラック市場に参入し、大手宅配物流および都市配送企業に新エネルギー物流車両のリース（ロングリース、ショートリース、タイムシェアリース）、販売、および補助的なサービスの運用を提供し、新エネルギー物流車両のデジタル運用サービスプロバイダとなっている。

同社は、「知的資産事業者」（インテリジェント・アセット・サービス・プロバイダー）（IASP）として位置づけ、オフラインとオンラインのデジタルサービスネットワークを構築し、グリーンで集中的に、デジタルでインテリジェントかつ安全な運行・サービスプラットフォームを構築することで、物流企業、都市配送ドライバー、商用車企業、コア・スペアパーツ企業、充電・エネルギー

貯蔵、保険金融、メンテナンスなどのエコロジーパートナーを結びつけている。現在までに、DSTは約4,000の顧客にサービスを提供し、プラットフォーム上で約5万台の車両を運行し、全国200都市をカバーし、全国8,000以上のサービスステーションにサービスを提供し、約20万基の充電杭を連結・運行し、500以上の修理サービス業者にアクセスしている。

DSTの創業者兼CEOである張海瑩（Zhang Haiying）氏は、新エネルギー物流車がインテリジェント端末、分散型移動エネルギー、移動倉庫の特性を持つため、車両とユーザーのライフサイクルにおけるバリューチェーンは、運営によって質的な変化が生じると述べている。DSTは、細分化されたシナリオにおいて、産業バリューチェーン全体を深耕し、都市のスマート交通とスマート物流のアップグレードを支援している。

これまでに、DSTは2億ドルのDラウンド資金調達を完了しており、Dラウンドの資金は産業バリューチェーンの深層的な展開、デジタルプラットフォームの構築、および運営網の拡張に使用される予定である。2018年に発表されたBラウンドの資金調達では、伊藤忠商事株式会社（ITOCHU）もDSTの投資者の一員であった。伊藤忠商事株式会社は、自社の経験を活かしてDSTのコスト削減と効率向上を支援し、さらに海外市場への展開も図ることができると述べている。

近年、電子商取引（EC）や速達便などのビジネスの発展に伴い、物流会社を取り扱う年間小包量は指数関数的に増加し、また、物流車両の輸送力のニーズでより多くのコストと公害をもたらすことになる。コスト削減と効率改善、グリーン輸送は、これらの企業の主要な要求の一つとなっている。したがって、新エネルギー物流車両市場は、活況を呈する黄金時代の到来を告げている。



## 深セン市人口、過去最多

先日発表された「2023年深セン国民経済社会発展統計公報」によりますと、2023年末の深セン市の居住人口は1,779万100人で、過去最多を記録しました。前年度の2022年末から12万8,300人増加し、前年比増加率は0.73%で、増加幅は中国で一線都市とされている北京・上海・広州・深センで、一位となりました。

また、「中国都市「95後」人材魅力度ランキング 2023」によると、深センは主要都市のトップになり、95後人材にとってはもっと人気が高い都市となっています。

※「95後」とは1995年～2009年生まれが対象で、約2.6億人、うち生産年齢人口（16～28歳）は約2億人である。

日本と同様に少子高齢化が加速している中国は、総人口に占める生産年齢人口の割合が2007年をピークに低下に転じました。少子高齢化が、すでに経済成長の停滞につながっている中、政府は対応策として、出産奨励、定年延長といった労働力を増やす対策を打ち出していますが、なかなか効果が見られない現状です。

よって、各都市において、人口と人口分布は都市発展の重要な指標となっています。全国の人口が減少する中、深センの人口は依然として増加しており、人口ボーナスの優位性はとても貴重な要素となるでしょう。

ちなみに、「95後人材」に人気の都市ランキングのTop10は以下となっています。

1深セン、2北京、3上海、4広州、5杭州、6南京、7成都、8蘇州、9無錫、10青島

中国の95後の若者達は、経済成長期の豊かな生活環境で

唯来企業管理諮詢（深圳）有限公司  
副總經理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。  
現在はクロスボーダーM&Aも手がけている。日本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティングに定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



育っていて、ワークライフバランスを大事にしていることから、就職先として都市を選ぶ際には、給与だけでなく、革新的な環境や文化・娯楽産業の環境なども重視しています。そんな中、深センは、北京や上海よりも戸籍取得などの定住の敷居が低く、革新的な産業構造やより多くの雇用機会の提供と相まって、より多くの若者が深センを選択しているのでしょう。

2023年末に、深センは率先して「トップ人材誘致」、「企業人材誘致」、「創造人材誘致」、「青年人材誘致」という4つの人材誘致政策を打ち出しました。うち、「トップ人材」は集積回路、人工知能、生物医学、新エネルギー自動車、新エネルギー貯蔵などの新生産性分野に焦点を当て、世界的なトップ人材を招き、事業プラットフォーム、研究資金、チームサポート、生活サポートなどの「政策パッケージ」を提供することにより、この領域の優秀人材を雇用する企業には補助金が支給されています。

深センの居住人口が増加し続けていることは、深センの人材吸引力、雇用キャパシティ及び都市包容力を強く証明しているだけでなく、深センの発展の原動力と将来の発展の可能性を物語っています。男女平等、起業家精神、革新性、新参加者の受け入れなどのすべてがフレンドリーな性格を持つ深センの魅力を反映している象徴的な出来事です。



深圳未来创新服务中心  
MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区粤海街道海天二路 19 号盈峰中心ビル 2301  
TEL:86-135-3089-3085  
<https://micsz.jp/>